



芦屋ユネスコ協会

AU通信

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

春のバスツアー報告

今年の旅は2年前爆弾低気圧のため急遽中止となった和歌山へ再度向かいました。この地は飛鳥に都が置かれる前、先達らが上陸した港津〈アメリカに例えればプリマスいうところか〉として歴史教科書には記されないまま江戸時代の徳川御三家紀州五十五万石の城下町として有名です。最初の訪問地は早咲きの桜で有名な根来寺、厳冬であったため調度満開の桜が出迎えてくれました。その前に休憩で立ち寄った道の駅さくらの里でのお野菜、果物など超格安で消費税アップ初日の買い物としてはラッキーでした。

その後7世紀頃の超大型楠が飾られた紀伊風土記の丘へ向かい、ここでは古墳時代と言われる時代の先達の残した埴輪や石室などを見学しました。

昼食は和歌の浦の断崖絶壁に立つ萬波楼にて日本のプリマスを見ながら会食しました。午餐後聖武天皇の随員山部赤人作万葉集「若の浦に潮満ち来れば瀉を無み葦辺を指して鶴鳴き渡る」で有名な歌詞が残る万葉館で孝徳天皇の息子有馬皇子の悲劇を上映したドラマを鑑賞。対岸の黒潮市場へ移動、新鮮海鮮物などお買い物。駐車場バス停には琴の浜行きの案内がありこの浜が神武上陸の事の浜である由は知る人もない。最後に和歌山城へ向かい地元語り部の案内で黄色のヤマブキが咲き誇る西の丸庭園や年代によって異なる石垣の積み方（野面積み、打ち込み接ぎ、切り込み接ぎ）など見学。外から見えぬようお殿様と侍従が往来するための壁と屋根が付けられた斜めにかかる御橋廊下を靴ぬいで歩きました。たくさんの目的地を短時間で回るハードスケジュールでしたが天気も良く南国の太陽はもう夏を感じさせました。紀の国、この地は東アジアの遥かなるロマンに満ちた場所でもありました。

(文責 芦屋ユネスコ協会理事 中川明)



和歌山城をバックに記念写真



根来寺

甲南高等学校・中学校よりご寄附を拝受

甲南高等学校・中学校の校長先生より昨年の文化祭の模擬店の収益金10万円を芦屋ユネスコ協会に寄付頂ける有難いお言葉を頂戴し 4月9日に廣瀬会長、由里副会長、塩井常任理事が出向いて、校長先生の立会いのもと学生代表より拝受いたしました。芦屋ユネスコ協会会長から感謝状を贈呈し、学生たちにユネスコ活動に今後とも積極的に参加いただくようお願いし多額な義援金を頂戴して参りました。

芦屋ユネスコ協会出前授業報告

今年1月27日(月)打出浜小学校の出前授業に行っていました。長年取り組んでまいりましたユネスコの思いや願いを生徒たちに聞いていただきました。体育館におよそ650人の生徒を前に、クルルンパ形式で2つの絵の見方を説明して和やかな雰囲気になりました。

世界中に学校に行けない子供たちを応援する世界寺子屋運動のことを話しました。はじめた国は日本であり今まで126万人の人達が世界寺子屋で学びました。次に、世界遺産、パネル数枚を掲げ紹介いたしました。今年は富士山、日本の和食が加わりましたことも嬉しい報告となりました。日本ユネスコ協会連盟が昨年11月に導入したユルキャラ“書きそんジロー”(書き損じはがき)を段ボールで作成し身に着けて、生徒たちの周りを歩き大爆笑でした。書き損じはがきの取り組みも大切なユネスコ活動であることをお家で話してほしいとお願いしていつも最後に“わたしの平和宣言”を、全員で大きな声で唱和いたします。芦屋教育長・校長会・先生方のご協力に改めて感謝いたします。

“書き損じはがき”のお礼

芦屋ユネスコ協会の行っております“世界寺子屋運動”にご賛同いただき、“書き損じはがき”をご寄贈頂き誠に有難うございます。はがきは切手に交換して、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟に届けます。地球上の多くの文字の読めない人たちの教育支援(世界寺子屋運動)につかわせていただきます。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発と様々な問題があります。

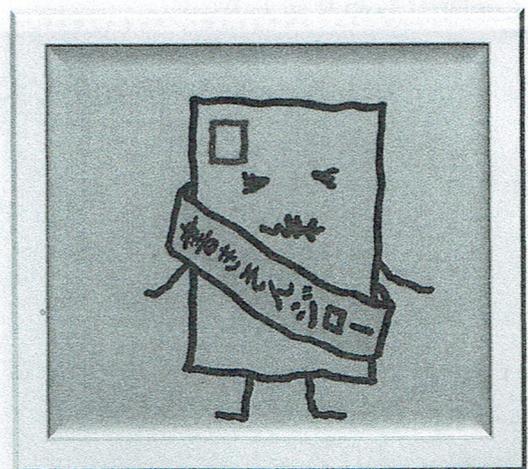
全ての人々が教育を受けられる事を願い世界寺子屋運動を広げたいと思います。

みなさまの温かいご理解とご協力に心からお礼申し上げます今後ともよろしくお願い申し上げます。

(文責 塩井 君子事務局次長)



甲南高等学校・中学校にて感謝状贈呈



私が書きそんジローです

「強み」とは、優劣の差ではなく「違い」のことです。そこで、芦屋（地域）の内側には、どんな「強み」があるのか、視点を変えてもう一度みんなで探してみませんか。芦屋のモノやコト（＝ものごと）への回帰は、大きな原動力となって、地域の良さが再認識されると確信します。

今回は、「芦屋の未来遺産」（補完・解説版 2013.11）の芦屋トピックスの中で、欠落しているモノがないか、あるいはさらに次世代に引き継ぐべきコトは何か。委員会に対する問題提起のひとつは「地域観光」であることに気がつきます。

2020年夏季に開催されるオリンピック・パラリンピックは東京に決まりました。

観客旅行者は、有名観光地以外の場所や地域にも関心が向き始めると思います。

「(新)観光立国推進基本計画」（2012.3 閣議決定）の中心的な方針に、国民経済を発展させるのは訪日観光を含む「地域再生の観光」という考え方があります。

「観光」が注目される理由は、地域に産業を育て、地域経済・地域社会の活性化に貢献する役割を持っているからです。

そこで、芦屋ユネスコ協会がこの「考え方」（地域観光）の実現に向け取り組みを検討してはいかがでしょうか。

芦屋市には、観光協会や商工会そして国際交流協会等がありますから、これらが連携して協働すれば、素晴らしい「観光地」をつくれるに違いありません。

芦屋（地域）に暮らす人々が独自の個性を持って、強いアイデンティティを放っていけば、それが観光資源となって多くの人に認知され、関心を惹きつける力（可能性）になると思います。が、すでに芦屋は知名度も高く、十分に人を惹きつけていると反論されそうです。しかし、芦屋にも変化の兆しがあります。最近の報道記事に触れただけでも、①関西の住みたい街ランキングで低迷し、②マンション化率も縮小の傾向です。このまま推移すれば、つなぐべき「芦屋文化の100年リレー」が途切れてしまい、「幻想の芦屋」になってしまいかねません。とすれば今の大人の責任は大です。ただ関連の動きとして、③芦屋臨海（潮芦屋）がマリーナを中心としたまちづくりを進め、クルーザーをかたどった10階建ての施設（会員制ホテル）が2018年には開業の予定です。

「強み」をわかりやすいメッセージ（街のストーリー）として発信していけば、その地域は、観光の対象となり、大きな「地域力」を帯びてくると考えます。

特別な名所旧跡や絶景などを持たない地域にも、観光がもつ経済波及効果は、産業としての裾野の広さを改めて認識されるようになると思うのです。

－ つづく －

（文責・上野義治 副委員長）



芦屋臨海（潮芦屋） クルーザーをかたどったホテル等のイメージ

2014年度 総会 出席のお願い

下記の日時で、本年度の総会が開催されますのでご予約ください。

日時: **6月20日(金曜日)午後 5時30分**

場所: **市民センター 301室**

総会終了後、**特別記念講演**(講師は現在のところ未定)があり、そのあと隣接の多目的ホールにおいて**会員交流懇親会(パーティー)**を行います。

案内とご返事の往復ハガキを差し上げますので、到着次第、すぐに出欠の返信をして下さい。万一欠席の場合は委任状に必ず署名・捺印して返信して下さい。

2014年度 年会費 納入のお願い

本年度(4月1日～3月31日分)の芦屋ユネスコ協会の年会費未納の方はなるべく早く納入して下さい。出来るだけ役員さんに現金で届けて頂ければ有難いです。(領収書をすぐにお送りします)

● 銀行に振込んで頂く場合は

三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通口座 3901693

口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 廣瀬 忠子

※ 納入の遅くなった方は、6月20日(金)の総会で担当者に現金で納入して下さい。

ご予約頂きたい当面の主要行事と日程……………追って詳細連絡します

- ◎ 6月20日(金)17時30分(市民センター)―総会・記念講演・会員懇親会
- ◎ 7月19日(金)10時(JR芦屋駅) ―民間ユネスコPR街頭行事(チラシ配布)
- ◎ 8月15日(木)12時(市民センター) ―平和の鐘を鳴らそう行事(含:軽食・懇談会)
- ◎12月16日(火)18時(ホテル竹園) ―年末講演会&親睦会(ディナー・ビンゴ・エンターテイメント)

日本ユネスコ協会連盟からの東日本大震災の支援募金にご協力をお願い致します
世界寺小屋運動のための「書き損じハガキ」のご提供をお願い致します

編集後記

桜満開の和歌山バス旅行も無事に終わりました。天候にも恵まれたバスの中で参加はされなかった会長発案により”4月1日大嘘つき大会”が行われました。見事に私が最初に騙されました。御三家の威風を保つ和歌山城では桜を堪能させていただきました。

早くも総会のお知らせです。又皆様のお顔を拝見できるのを楽しみにしております。

本荘 美恵